

2024年8月

早稲田オープン・イノベーション・エコシステム挑戦的研究プログラム
早稲田次世代 AI イノベーション・エコシステム挑戦的研究プログラム

W-SPRING/W-SPRING-AI 博士フォーラムについて

1. 開催趣旨

JSTにより運営されているSPRING事業、ならびにBOOST・次世代AI人材育成プログラム（博士後期課程・一貫制博士学生支援）事業に対して、本学では、それぞれ「W-SPRING」および「W-SPRING-AI」としてプログラムを実施している。両プログラムでは、本学の強みを活かし、分野融合的な取組を行うことが期待されており、また学生からも採択者同士の横のつながりを求める声が上がっている。

これまで、科目・コンテンツ履修やワークショップ・シンポジウム等の開催により、学生同士の交流機会はあったものの、全採択学生が一堂に会する機会は提供できていなかった。そこで、学生の期待や要望に応え、学生同士の交流・分野融合を促進することを目的として、博士フォーラムを企画・実施する。

2. 開催概要

時期	2024年9月18日（水）9時30分～18時40分
対象	●W-SPRINGあるいはW-SPRING-AIの支援を受けている学生、W-SPRING過年度支援学生 ●早稲田大学修士課程学生・学部生 ●早稲田大学教職員 ※W-SPRING・W-SPRING-AI 審査員、ジョブ型インターンシップに協力している企業人
参加形式	対面のみ
場所	早稲田大学国際会議場 ●井深ホール 開会挨拶・趣旨説明、基調講演、ワークショップのグループ発表・講評 ●第一会議室・第二会議室 ポスターセッション（デジタル・AI、グリーン、ソーシャル、ライフ）及びワークショップ（グループワーク） ●第三会議室 懇親会・ネットワーキング
参加申込先	https://my.waseda.jp/application/detail/application-detail?communityContentLinkId=588614184

3. タイムテーブル

開始	終了	内容	実施言語	場所
9:30	9:35	開会挨拶 本間 敬之（W-SPRING 事業統括／早稲田大学常任理事）	日	1F 井深ホール
9:35	9:45	来賓挨拶 井上 諭一（文部科学省 科学技術・学術政策局長）	日	1F 井深ホール
9:45	9:50	趣旨説明 朝日 透（W-SPRING キャリア支援責任者／早稲田大学理工学術院先進理工学研究科 教授）	日	1F 井深ホール
9:50	10:10	休憩		
10:10	12:40	ポスターセッション オーガナイザー 鷲崎 弘宜（W-SPRING-AI 事業統括／早稲田大学理工学術院基幹理工学研究科 教授） ・4つのセッションに分け、ポスターには、自己紹介、研究紹介、キャリアデ		3F 会議室

		ザインを記載する。		
10:10	10:40	①ポスターセッション Part 1	日・英	3F 会議室
10:40	10:50	休憩		
10:50	11:20	②ポスターセッション Part 2	日・英	3F 会議室
11:20	11:30	休憩		
11:30	12:00	③ポスターセッション Part 3	日・英	3F 会議室
12:00	12:10	休憩		
12:10	12:40	④ポスターセッション Part 4	日・英	3F 会議室
12:40	13:40	昼休憩		
13:40	14:20	基調講演 「AI 技術を用いた研究開発・ビジネスを取り巻く国際情勢」 杉村 領一（産業技術総合研究所 情報・人間工学領域連携推進室 チーフ連携オフィサー）	英	1F 井深ホール
14:20	14:30	休憩		
14:30	16:30	ワークショップ（グループワーク） ※8名程度のグループに分かれて議論する。 ➤ ルームA（日本人学生） ◇ 鶴谷 武親（早稲田大学ビジネススクール 客員教授） ● 島岡 未来子（早稲田大学研究戦略センター 教授） ● 野中 朋美（早稲田大学理工学術院創造理工学研究科 教授） ● 藤田 健司（三井住友海上火災保険株式会社 ビジネスデザイン 部 部長） ● 丹羽 大介（早稲田大学ベンチャーズ株式会社 パートナー） ● 紺谷 幸弘（株式会社ブレインパッド 執行役員人事ユニット統括デ ィレクター兼ソリューションユニット副統括ディレクター、エグゼクティブデー タサイエンティスト） ● 齊藤 三希子（エスエムオー株式会社 CEO） ● 丸山 祐丞（EAGLYS株式会社 CSO） ➤ ルームB（留学生） ◇ 朝日 透（早稲田大学理工学術院先進理工学研究科 教授） ● 河合 隆史（早稲田大学理工学術院基幹理工学研究科 教授） ● 大森 峻一（早稲田大学理工学術院創造理工学研究科 准教 授） ● 野崎 千尋（早稲田大学理工学術院国際理工学センター 准教 授） ● 吉成 雄一郎（三菱商事株式会社 デジタル事業部長） ● 安島 真澄（エフバイタル株式会社 代表取締役） ● 吉川 岳（コランダム・イノベーション株式会社 事業開発部長） ● 阿部 理央（元 SAPジャパン株式会社 University Alliances Lead Japan / Inspired. Lab Staff）	日・英	・3F 第一会議 室（日本人学 生） ・3F 第二会議 室（留学生）
16:30	16:40	休憩		
16:40	17:50	ワークショップのグループ発表 ※各グループ発表（2分）×22グループ ※ファシリテーターからの講評・フィードバック	日・英	1F 井深ホール
17:50	18:40	懇親会・ネットワーキング		3F 会議室

4. プロフィール

【基調講演者】

杉村 領一（国立研究開発法人 産業技術総合研究所 情報・人間工学領域 チーフ連携オフィサー）



1980年松下電器産業株式会社入社、1984年新世代コンピュータ技術開発機構（ICOT） 出向。1999年パナソニックOWL（UK） 社長。2001年松下電器 モバイルネットワーク研究所 所長。2004年パナソニック モバイルコミュニケーションズ モバイルシステム開発センター所長、Symbian Supervisory Board Memberなど。2006年 ESTEEMO副社長、LIMO財団設立メンバー、財務担当役員。2012年 NTTドコモ入社、戦略アライアンス担当部長、プロダクトイノベーション担当部長、TIZENアソシエーション理事長、FIDOアライアンスD@SWG議長。2016年 現職。2018年4月 ISO / IEC JTC 1 / SC 42国内専門委員会委員長。工学博士（京都大学）、教養修士（英国ランカスター大学） IMPM, IMPMディプロマ（INSEAD、フランス）。人工知能学会理事、ソフトウェア学会理事、電子情報通信学会評議員を歴任。経済産業省AI原理実践検討委員会委員。経済産業省スマートシステム標準化検討専門委員会委員。筑波大学客員教授。

【開会挨拶】

本間 敬之（W-SPRING 事業統括／早稲田大学 常任理事）



1987年早稲田大学工学部応用化学科卒業、1992年同大学院博士課程修了（博士(工学)）。早稲田大学助手、専任講師、助教授を経て、2005年先進理工学部応用化学科教授、2021年日本医科大学客員教授併任。2018～2022年早稲田大学教務部長、2022年同理事を経て2023年より同常任理事（副プロボスト、教学総括、研究推進、産学連携担当）。2003年米国電気化学会誌エディター、2021～2023年 Vice President、International Society of Electrochemistry（国際電気化学会副会長）。2018年文部科学省卓越大学院プログラム「早稲田大学パワー・エネルギー・プロフェッショナル育成プログラム」副プログラムコーディネーター、2024年W-SPRING事業統括。専門はナノスケールの機能表面・界面化学、エネルギーデバイス。

【来賓挨拶】

井上 諭一（文部科学省 科学技術・学術政策局長）



九州大学工学部卒業。1991 年同大学院工学研究科を中退し科学技術庁入庁。これまで、日本の地震調査研究体制の整備、スーパーコンピュータ「京」の開発、海洋資源調査システムの開発、給付型奨学金制度の創設、我が国 AI 戦略の策定などに従事。2001 年から 2004 年の間、在ドイツ日本大使館科学アタッシェ、2022 年 G7 科学技術大臣会合では我が国シエルパを務めた。2024 年 7 月より現職。

【ポスターセッション セッションオーガナイザー】

鷺崎 弘宜（W-SPRING-AI 事業統括／早稲田大学理工学術院基幹理工学研究科 教授）



2003 年早稲田大学大学院博士後期課程修了、博士（情報科学）。早稲田大学グローバルソフトウェアエンジニアリング研究所 所長、早稲田大学理工学術院基幹理工学部情報理工学科 教授、国立情報学研究所 客員教授、株式会社エクスマーシオン 社外取締役、株式会社システム情報 顧問、人間環境大学 顧問。IEEE Computer Society 2025 President、ISO/IEC/JTC1 SC7/WG20 Convenor、情報処理学会ソフトウェア工学研究会主査、日本科学技術連盟ソフトウェア品質管理研究会運営委員長ほか。IoT/AI/DX リカレント教育プログラム スマートエスイー（Smart SE）事業責任者。2024 年より W-SPRING-AI 事業統括。

【ファシリテーター】

朝日 透 (W-SPRING インターンシップ・キャリア支援責任者／早稲田大学 理工学術院 先進理工学研究科 教授)



1986年早稲田大学工学部応用物理学科卒業、1992年博士(理学)、2007年経営学修士。2013年先端科学・健康医療融合研究機構 機構長、2016年ナノ・ライフ創新研究機構 副機構長、2019年早稲田大学総合研究機構 グローバル科学知融合研究所所長、2020年早稲田大学先進理工学部・研究科教務主任、2021年W-SPRING インターンシップ・キャリア支援責任者兼ライフイノベーション審査委員長を務め、学際的研究を推進し、イノベーション人材の育成に取り組む。2014年より、アントレプレナーシップ教育に携わり、早稲田大学「WASEDA-EDGE 人材育成プログラム」事務局長を経て、副実行委員長。専門はキラル科学、生物物性科学、結晶光学、機能性薄膜、循環型食料生産システムの研究。

鶴谷 武親 (早稲田大学 ビジネススクール 客員教授／CAPSグループ・ポリゴンマジックグループ代表)



埼玉大学教養学部・聖路加国際大学看護学部卒業、金沢工業大学KIT虎ノ門大学院修了。セコムにてグループ事業戦略などを担当後、デジタルハリウッド、アイ・エム・ジェイ、デジタルスケープをはじめ、ポリゴンマジックなどの創業に参画し、米国教育機関CEOを経て、1999年フューチャーインスティテュートを設立。また、総合電機メーカー、総合商社、通信キャリアなどの企業事業アドバイザー・社外取締役等を歴任、現在NPO法人CANVAS評議員、NPO法人キャンサーネットジャパン監事、K.I.T.虎ノ門大学院客員教授、名古屋商科大学客員教授、日経BP総合研究所客員研究員。早稲田大学では社会人教育をはじめ、博士人材の育成、起業家育成などに従事。

河合 隆史 (早稲田大学 理工学術院 基幹理工学研究科 教授)



1993年早稲田大学人間科学部卒業、1998年同研究科博士後期課程修了、博士(人間科学)、認定人間工学専門家を取得。早稲田大学国際情報通信研究センター専任講師、同大学院国際情報通信研究科 助教授を経て、2008年より現職。2008年度、2016年度、ヘルシンキ大学行動科学研究所訪問教授として赴任。3D、VR、クロスモーダルインタフェースなど、先進技術とヒトのインタラクションに関する研究に従事。社会活動として、International Ergonomics Association Executive Committee、

Advanced Imaging Society Japan Chapter Chair、日本人間工学会 理事、デジタルコンテンツ協会 理事などを務める。専門は人間工学。

島岡 未来子 (早稲田大学 研究戦略センター 教授／神奈川県立保健福祉大学 ヘルスイノベーション研究科 教授)



1992年早稲田大学第一文学部卒業後、国際NGOで管理職を経験後、(公財)地球環境戦略研究機関(IGES)特任研究員。早稲田大学商学学術院WBS研究センター助手、研究戦略センター准教授を経て現職。2013年早稲田大学公共経営研究科にて博士(公共経営)取得。文部科学省「グローバルアントレプレナー育成促進事業(EDGEプログラム)」、「次世代アントレプレナー育成事業(EDGE-NEXT)」の採択を受け、WASEDA-EDGE 人材育成プログラムの運営に携わり、2019年より事務局長。2020年早稲田大学がSTARTスタートアップ・エコシステム形成支援事業「Greater Tokyo Innovation Ecosystem」に採択

され、早稲田大学のプログラム代表補佐を務める。2019年度春学期早稲田大学ティーチングアワード総長賞受賞。起業家教育では、デザイン思考、リーンスタートアップなど複数科目を担当。

野中 朋美 (早稲田大学 理工学術院 創造理工学研究科 教授)



慶應義塾大学環境情報学部卒業、企業で検索エンジンマーケティングに従事した後、慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科(SDM) 修士課程・後期博士課程を早期修了。博士(システムエンジニアリング学)。神戸大学大学院システム情報学研究科特命助教、青山学院大学工学部経営システム工学科助教、立命館大学食マネジメント学部准教授・立命館 EDGE+R 副総括責任者などを経て、早稲田大学創造理工学部経営システム工学科教授。専門は経営システム工学、サービス工学。持続可能なビジネス・社会システム研究。内閣府クールジャパン・アカデミアフォーラム構成員、尾道市ウェルビーイング政策ア

ドバイザーを務める。

藤田 健司（三井住友海上火災保険株式会社 ビジネスデザイン部 部長）



早稲田大学法学部卒業。グループ業務プロセス改革プロジェクトに参画した後、営業推進部門、企業営業部門を経て2016年より現業に従事。VCやアクセラレーターとの協業を通じて新たなリスクソリューション策を展開し最新の保険技術を駆使してスタートアップ企業の成長を支援。三井住友海上キャピタルを兼務してビジネスマッチング、オープンイノベーション、ビジネスディベロップメントを手掛ける。外部職として経営イノベーション専門職大学客員教授、Shibuya QWS コミュニティパートナー、VCスタートアップ健康保険組合アンバサダー等を務めるとともに、下記支援機関でメンターに従事する。EYアクセラレーション、Kawasaki Deep Tech Accelerator、plug and play shibuya、トーマツStartup Gateway SAGA、港区 MINATO Accelerator等。

丹羽 大介（早稲田大学ベンチャーズ株式会社 パートナー）



早稲田大学理工学部応用化学科卒業、同大学院理工学研究科博士後期課程修了（博士（工学））。早稲田大学先端科学・健康医療融合研究機構 助手・講師、ローム株式会社、帝人ファーマ株式会社を経て、2022年より早稲田大学ベンチャーズ株式会社に参画。国プロ代表、海外大学との共同研究拠点と子会社設立、臨床検査・ウェアラブル関連の新規事業創出、ヘルスケアベンチャー支援と事業共創、デジタル/データヘルズ領域の企画と各種プロジェクトを実行。現在はヘルスケア、メディカル、ケミカル領域の創業投資を中心に活動。投資先5社の取締役、監査役も務める。

紺谷 幸弘（株式会社ブレインパッド 執行役員人事ユニット統括ディレクター兼ソリューションユニット副統括ディレクター エグゼクティブデータサイエンティスト）



大阪大学人間科学研究科 博士前期課程修了。2010年に新卒社員としてブレインパッドに入社。ブレインパッドとヤフー株式会社の合併会社にて、Yahoo! Japanの大量データを使い広告主を中心に価値を提供。2018年7月以降、部長として150名以上のデータサイエンティストのマネジメントに従事。2023年7月の組織変更により、ソリューションユニット副統括および執行役員としてケイパビリティカットでプロフェッショナル事業・プロダクト事業に関わる人材のマネジメントに参画。2024年より人事ユニットの管掌役員を兼任。

齊藤 三希子（エスエムオー株式会社 CEO）



慶應義塾大学経済学部卒業。株式会社電通に入社後、電通総研への出向を経て、2005年に株式会社齊藤三希子事務所（後にエスエムオー株式会社に社名変更）を設立。「本物を未来に伝えていく」をパーパスとして掲げ、ものの本質的な価値を見据えたパーパス・ブランディングを日本でいち早く取り入れる。2021年7月、著書『PURPOSE BRANDING～「何をやるか？」ではなく「なぜやるか？」から考える』を出版。株式会社バルカー社外取締役。

丸山 祐丞（EAGLYS株式会社 CSO）



2009年早稲田大学スポーツ科学学術院スポーツ医科学科卒業、2011年同修士課程修了、2016年博士（スポーツ科学）取得。2016年より早稲田大学ナノライフ創新研究機構次席研究員として文部科学省「グローバルアントレプレナー育成促進事業（EDGE プログラム）」、「次世代アントレプレナー育成事業（EDGE-NEXT）」に関り、早稲田大学非常勤講師。2016年共同創業者としてEAGLYS株式会社を設立し、2018年より取締役CSOに就任。専門はバイオメカニクス、機械学習の応用、プライバシー保護機械学習

大森 峻一（早稲田大学 理工学術院 創造理工学研究所 准教授）



2007年早稲田大学理工学部経営システム工学科卒業、2009年同修士課程修了、博士課程修了、2013年博士（工学）取得。2015年03月早稲田大学理工学術院経営システム工学科助手、2015年同助教、2018年同講師、2023年より現職。早稲田大学グローバル生産・物流コラボレート研究所所長。数理的な手法を活用したオペレーションの効率化・最適化の研究およびデータ活用・レジリエンス・サステナビリティを中心に意思決定支援ツール開発やアルゴリズム開発の研究に従事。ロジスティクス・サプライチェーン領域を中心に企業との産学連携プロジェクトおよびアメリカ・タイ・ヨーロッパなど海外の企業・大学との共同研究・国際交流プロジェクト運営にも多数実施。専門はオペレーションズマネジメント、サプライチェーンマネジメント。

野崎 千尋（早稲田大学 理工学術院 国際理工学センター 准教授）



2004年京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科高分子学専攻博士前期課程修了、2007年星薬科大学大学院薬学研究科薬科学専攻博士後期課程修了、修士（工学）および博士（薬学）。デンマーク国立オールボー大学、フランス国立遺伝細胞分子生物学研究所、ドイツ国立ボン大学医学部と欧州各地で研究に従事した後、2020年より現職。オピオイド（麻薬）あるいはカンナビノイド（大麻）といった嗜好性薬物が寄与するシグナル伝達系をターゲットに、特に疼痛を伴う慢性炎症疾患への寄与について基礎的な研究を重ねる一方、社会受容性の低い動植物資源を過不足なく現代社会に活かす方法を模索している。専門は行動薬理学、神経免疫学。

吉成 雄一郎（三菱商事株式会社 デジタル事業部長／早稲田大学 非常勤講師／大学院大学至善館 特任教授）



1994年早稲田大学理工学部機械工学科卒、1996年同修士課程修了、2017年早稲田大学ビジネススクール修了、2022年早稲田大学社会科学部研究科博士後期課程修了。修士（工学）、MBA、博士（社会科学）。1996年三菱商事入社。宇宙航空機部にて人工衛星ビジネスに従事後、位置情報サービスの社内ベンチャー「ジク・データシステムズ」を起業。その後資源ビジネスに異動しオーストラリア鉱山事業でVice President。本店を経て2016年より6年半シリコンバレーに駐在し、スタートアップ投資、DX、オープンイノベーション活動などイノベーションを推進。2024年より現職。投資先企業4社で取締役会議長や社外取締役。大学教育においては、デザイン思考、イノベーション、アントレプレナーシップ、経営学社会人ゼミを担当。専門は、国際ビジネス、経営戦略、イノベーション、多国籍企業。

安島 真澄（エフバイタル株式会社 代表取締役）



東京大学法学部政治学科卒業後、6年間専業主婦経験を経て、30歳の時に、経理サポートとして株式会社コーチ・エイ入社。翌年、2009年コーチング研究所LLPを立ち上げ、同年に研究所所長就任。2011年経営企画室付執行役員就任。医療福祉事業の立ち上げや東北大学の出江紳一教授と共に、医療安全プログラム開発とその運営に従事。2015年ハヤテインベストメント株式会社入社後、2018年取締役兼コンプライアンスオフィサー就任。新規事業として、投資の意思決定のAI化プロジェクトを立ち上げ、Forbes Japanの巻頭記事に掲載される。2021年AI画像解析による乳幼児の発達自動評価技術をベースとした育児・保育支援ツールの開発を行うエフバイタル株式会社を立ち上げ、代表取締役を務める。

吉川 岳（コランダム・イノベーション株式会社 事業開発部長）



2011年、東京大学大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻博士後期課程修了、博士（工学）を取得。大手石油技術サービス企業のシュルンベルジェ株式会社にてエンジニアとして精密計測機器開発に企画設計から量産まで従事した後、株式会社ナインシグマ・ジャパン（現ナインシグマ・ホールディングス株式会社）にて、自動車・電機・飲食・IT・化学・材料など様々な産業分野の大手事業会社の技術開発・事業開発のコンサルティングをのべ数百件、幅広く提供した。2021年より現職。科学技術に立脚し、投資も活用した新規事業開発や新産業創出に向けたイノベーション活動を推進している。日本航空宇宙学会会員、特許庁のスタートアップ支援プログラムIPASのメンター等を務める。

阿部 理央（元 SAPジャパン株式会社 University Alliances Lead Japan / Inspired. Lab Staff）



SAPジャパンに新卒入社。コンサルタントやプリセールスとして日本の大企業のDXを支援。2011年より産学連携プログラム（SAP University Alliances）を日本で唯一の専任としてリード。2019年より大手町にて三菱地所とSAPが共同運営するオープンイノベーションスペース&コミュニティ Inspired. Lab に参画。